

建築研究所ニュース



平成19年11月2日

シンポジウム「火災リスクを考慮した火災安全設計法の開発に向けて」の開催について

独立行政法人建築研究所では、平成18年度より重点的研究開発課題として「火災リスク評価に基づく性能的火災安全設計法の開発」に取り組んでおります。今回、この研究プロジェクトの中間報告として、シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、火災リスクを考慮した火災安全設計の考え方や、防火区画の計画に関するケーススタディについて、これまでの研究成果を発表し、幅広い議論を行なうことを目的としています。詳細は添付資料をご覧ください。

なお、会場の定員がありますので、シンポジウムに参加を希望される方は、事前登録をお願いします。

(内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所
所属 防火研究グループ
氏名 萩原 一郎、仁井大策
電話 029-879-0692,864-6685 (直通)
E-mail hagiwara@kenken.go.jp
nii@kenken.go.jp

シンポジウム

火災リスクを考慮した火災安全設計法の開発に向けて

主催 独立行政法人建築研究所
後援 東京理科大学 21世紀 COE

シンポジウムの概要

独立行政法人建築研究所では、平成 18 年度より重点的研究開発課題として「火災リスク評価に基づく性能的火災安全設計法の開発」に取り組んでおります。今回、この研究プロジェクトの中間報告を行うシンポジウムを行います。

日本では、2000 年の建築基準法改正において、防火に関する性能基準が導入され、性能に基づく火災安全設計が広まりました。しかし、仕様規定のままである基準もあり、防火区画の面積制限の緩和や、スプリンクラー設備の適切な評価を求める声も少なくありません。これらの課題を解決するためには、火災リスクを適切に評価することが重要だと考えられています。

本シンポジウムでは、火災リスクを考慮した火災安全設計の考え方や、防火区画の計画に関するケーススタディについて、これまでの研究成果を発表し、幅広い議論を行なうことを目的としています。

日時 2007年 11月28日 13時～17時

場所 東京理科大学 森戸記念館
(JR 飯田橋)

参加者 当該分野に関心のある方、議論に積極的に参加して頂ける方
会場の定員(100名)がありますので、11月21日までに
登録フォームにより参加登録をお願いします。

参加費 無料

プログラム案

1. 趣旨説明
2. 火災リスクに基づく火災安全設計の考え方
＜質疑・討論＞
3. 避難・消防活動・構造耐火の観点からみた防火区画のあり方
4. 防火区画のあり方ケーススタディ
 - ・避難安全性能について
 - ・消防活動支援性能について
 - ・構造耐火性能について
5. 防火設備に求められる性能
＜質疑・討論＞
6. まとめ

参加登録フォーム

シンポジウム「火災リスクを考慮した火災安全設計法の開発に向けて」
日程：2007年11月28日（水） 場所：東京理科大 森戸記念館

必要事項を記入の上、11月21日までに下記へお送り下さい。

送付先： 独立行政法人建築研究所
防火研究グループ 仁井大策
メール nii@kenken.go.jp
Fax 029-864-6775

参加者

氏名 _____

所属 _____

役職 _____

所在地 _____

メール _____

電話 _____

Fax _____